

# EMERGENCY WATCH

No. 103 Jul 2019



神戸こども初期急病センター

2019年6月  
受診者数  
2016人

## 疾患頻度

1. 急性上気道炎	486人
2. 感染性腸炎	306人
3. 咽頭炎	221人
4. ヘルパンギーナ +手足口病	156人
5. 喘息	123人



6月より、ヘルパンギーナ・手足口病が流行しています。  
伝染性紅斑(りんご病)4月29名、5月11名でしたが6月4名とプチ  
流行は収束しました。



毎年夏に流行し、こどもの三大夏風邪とも言われるのが「プール熱」「手足口病」「ヘルパンギーナ」です。今回はそのなかで「ヘルパンギーナ」についてご紹介します。

Q1. 病原体は？

主にコクサッキーA群ウイルスというエンテロウイルスが原因です。

Q2. 感染経路は？

感染者の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫に含まれるウイルスによって感染したり(飛沫感染)、水疱の中身や便に排出されたウイルスが手などに付着し、それが口や目などの粘膜に入って感染します(経口・接触感染)。他人への感染をしやすい時期は発熱などの症状が出現する際ですが、便へのウイルスの排泄は数週間続くとされ、急性期をすぎても感染する可能性があります。

Q3. 症状は？

突然の発熱で発症し、幼少児ではしばしば40度を超える高熱がみられます。多くの症例で咽頭痛、嚥下痛、流涎(よだれ)を伴い、およそ25%の患児で嘔吐や腹痛がみられ、年長児では頭痛がみられることもあります。口腔所見が特徴的で、のどに1-2mm大の水疱や潰瘍が出現します。また発熱時に熱性けいれんがみられることもあります。

Q4. 診断は？

ほとんどの場合、症状から診断されます。一部の重症例では、ウイルス分離や遺伝子診断で確定することもあります。

Q5. 治療法は？

特効薬はないため、対症療法を行います。多くの場合有熱期間は1-3日程度ですが、口腔内の潰瘍による痛みは長引くことが多く、食欲低下がみられる場合には鎮痛剤を使用することがあります。脱水にならないように、こまめな水分摂取を行うことが大切です。

Q6. 予防法は？

流行期の手洗いが大切です。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。身近に症状がある人がいる場合には、タオルの共用は避けるようにしましょう。ヘルパンギーナの原因ウイルスはコクサッキーA群ウイルス以外にもあるため、繰り返しかかることがありますので注意が必要です。

Q7. 登園・登校基準は？

感染の恐れがないと認められることが基準となります。具体的には発熱などの主な症状が消失し、元気のある状態であれば可能とされることが多いですが、登園・登校の基準は園や学校により異なることもありますので確認してください。

発行：神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門



# EMERGENCY WATCH



## 特別連載

## こどもの事故 part 4

今年の夏は予想に反して涼しいですね。日照時間も短いので、お米好きの私としては今からお米の収穫量が気になっています。天候が回復しておいしいお米がいっぱいできるといいですね。

さて、先日スーパーで買い物をしているとお孫さんを連れだご老人がいました。お互いに慣れていない様子で、何とか孫の機嫌をとろうとされている光景がほほえましかったです。きっと早めの帰省だったのでしょうか。帰省は帰るほうも迎えるほうも楽しみな行事ですね。自宅ではいろいろな事故予防に気を付けていても帰省先は小さな子どもにとっては慣れない家です。せっかくの楽しい帰省が不幸な事故で悲しい気分になってしまうような危険についていくつかお話してみますね。

### ・飲み薬

帰省先には高齢者がおられることが多いと思います。そして高齢者は様々な理由で薬を飲んでおられることが多いのではないのでしょうか。そして、毎日飲む薬ですので食卓や居間のテーブルの上に無造作に薬が置いてある光景を見たことはありませんか。実際によくある事故は「薬物誤飲」です。



この写真のこどもは今からどんな行動をとることが予想されますか？薬が気になっているようですね。

まさか薬嫌いのこどもが薬を間違っても飲まないと思うかもしれませんが、錠剤はラムネやキャンディーのように子供の目には映ります。帰省先でたっぷりおやつが食べられると期待しているこどもは無造作に置いてある錠剤を口に入れてしまいます。そしてスルッと飲み込んでしまうのです。

どんなクスリにも主作用と副作用があるのですが、主作用を期待し副作用を上回る利点があるから処方されます。そのクスリを飲んで何の利点もない人が薬を飲んだら主作用も副作用もどちらも害でしかありません。そしておとなのクスリにはこどもにとっては一錠でも危険な薬があります。それを我々はone pill killers(一錠で死に至る薬たち)と呼んでいます。

経口糖尿病薬・抗うつ薬・抗不整脈薬・痛み止めの麻薬・抗精神病薬がその代表です。これらは壮年から高齢者までよく飲まれるお薬です。手の届かないところに置きましょう。

### ・シートベルト(チャイルドシート)

さて、久しぶりに孫がやってくるとなるとどこかに連れて行きたくありませんよね。別号で特集しようと思っていますが、帰省先で時々起こる不幸なこどもの事故は祖父母や親戚の車での交通事故です。時々皆さんも目にされることがあると思いますが大人の膝に乗った状態で車に乗っているこども。

図①のように大人はシートベルト、こどもは膝にだっこにしていると事故だけでなく急ブレーキだけでもこどもは前に飛び出してしまいます。じゃあ図②だったらいいじゃないかと言われそうですがこの場合、急ブレーキや事故の時大人とシートベルトの間に子供が挟まりこどもが大きな力で圧迫されてしまいます。言葉を選ばなければ、大人がこどもをクッション代わりにして自分だけ助かるということがあります。悲惨な状況ですね。悔やんでも悔やみきれません。

自分は運転に自信があるから大丈夫？いえいえ、誰が「今から事故を起こそう」と思って運転しているのでしょうか？そんな人はいません。どれだけ運転に自信があり安全運転をしていても事故を起こすことはあるのです。



図①のイメージ動画 (JAF)

#### ・帰省前に

帰省する前に保護者は帰省先に事故予防のためにこどもが手にとったり口にしたりすると危ないものは手の届かないところに置くように伝えてください。また、帰省先になるおうちの方はいつもより事故に注意をしなければいけない「こども」が来ることを認識して周りを見回してくださいね。そして車でお出かけする予定があるけどチャイルドシートやジュニアシートがなければレンタルなどで準備してくださいね。目に入れても痛くないかわいいこども・孫に事故という不幸な出来事がないように楽しい帰省シーズンを送ってください。

